

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2023年3月25日

事業所名：発達センターちよだ 保護者等数（児童数）：25 回収数：14 割合：60%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	50%	14%	36%		活発に動く子にはかなり物足りない室内スペース園庭は広いが、屋内の各クラスの部屋は机や椅子、ダンスもあり子ども達に対して十分なスペースとはいえない。もっと広い屋内活動スペースが必要だと思います。教室は狭いとおもう 保育室は年長7名だったので概ね問題なかったが、トイレが水道は人数に対して少ない&通路が狭い。	最低基準より大きくスペースは確保されているが、狭いと感じることは事実です。建物も老朽化している為、建て替えの際には、子ども、保育士にとってより良いスペースの確保を考えていきます。
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	57%	21%	21%		今年度は新規採用職員も多く、職員の教育が行き届いていないと感じる場面が多々見られ、そういった場面では職員配置数、専門性も適切ではないと感じた。配置人数は足りる活動もあれば、行事等で手薄になっているタイミングもあり一概に充分とは言えない。職員個々人のスキルや気配りは人それぞれで、専門性高く対応してくださる職員もいればそうでない方もいて差は大きい。後輩指導という点ではあまり良い状況とは思えない。3対1の配置では実質足りない	専門性を高めていくために、地域療育センターとの連携を強固にしていきます。日々の職員同士のやりとりや研修機会もしっかりと設け、専門性をより高めます。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	29%	50%	21%		下駄箱の靴が手が届きにくいと感じる。施設が古すぎる バリアフリー化はされていないと思います バリアフリー化された施設構造になっていない。視覚化支援も不十分に感じる。 子供たちが落ち着ける小さな部屋があってもいいかもです 生活空間の区切りは問題ないが、バリアフリーの観点は課題あり。情報伝達についてはおたよりで丁寧に連絡していただき園生活の活動に対しては申し分ないが、職員研修や外部監査の件等で保護者に情報開示していく件については今後も課題として取り組んでいきたいです。 生活空間は障害児にとってわかりやすく工夫されていますが、事業所自体は古くバリアフリー化されているとは言えません。	バリアフリー化は出来ていない部分もありますが、2022年度、2023年度、設備、施設等の修繕を行います。保育室内においては、各クラスごとに過ごしやすいように環境設定をしています。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	36%	43%	21%		施設が古すぎて、不潔に見える。冬は寒くて心地よく過ごせるとは思えない。 裸足保育のため仕方がないが床が砂だらけで保護者の服も汚れることが多々ある。 施設が古すぎる 建物の古さは感じます。先生方は掃除等いい清潔を保ってくれていると思う 換気へ清掃は十分にされていると思うが、施設の構造上、いつでも裸足で園庭と室内を出入りができるため、清潔は保持されていないと感じる。 体温調節が苦手な子どもにとっては、廊下も冬季は冷えすぎる、夏季は暑すぎると思う。 建物が老朽化しているため、清潔とはいえない掃除はしっかり行ってくださっている姿があり、安心しています。園庭の水捌けが改善されるといいですね。	施設が老朽化していることから、必要な修繕工事を行っています。2023年度も保育室の修繕を行う予定です。今後も快適な生活環境になるように、清潔に保っていきます。
適切	⑤ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	100%				子どもの発達を保護者と職員で情報共有は担当職員と十分に共有できた上で計画は考えられていると感じる。 面談でお話いただく内容はよく子供の様子を捉えていて、保護者の意向もくんでくださるのでとてもありがたいです。	引き続き子ども、保護者のニーズを丁寧に捉えた支援計画を作成していきます。
	⑥ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	100%					

な支援の提供	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	79%	7%	7%	7%	クラスの担当職員からは計画に沿った支援が行われていると感じるが、全職員へ共有されていると感じることができなかった。担当職員1人からは十分な支援を受けていると感じたが、他の職員は計画を理解した上で子どもと日々の関わりをしているの疑問に感じた。ちよだ以外の支援は受けれていないですもっと支援に力をいれてほしいです計画支援を意識して取り組まれていると思います。	どの職員も児童発達支援計画を見れるようにファイリングしています。パート職員にもしっかりと連携を図っていきます。	
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	79%	14%	14%		詳しい日々の活動内容は知らされない今年度は様々な行事や年長プログラムが計画されていて工夫を感じた。毎日の連絡ノートで日々さまざまな取り組みをされているのがよく伺えます。	固定化されないように、子どもの姿からプログラムを検討していきます。	
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	7%	14%	64%	14%		コロナ禍ということもありますが、状況を確認次第、検討していきます。	
保護者への説明等	⑩	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	86%			7%		契約前に必ず確認を行っているが、どのクラスの職員でも説明できるように、制度についても学習を続けていきます。	
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	100%					児童発達支援ガイドラインに沿った支援を行っています。併せて児童発達支援ガイドラインについては、保育者が研修をしています。どのようなガイドラインが必要なのかも検討し合っていきたいと考えています。	
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	57%	14%	21%	7%	保護者研修が毎年同じ内容なので、進級児については別の内容にしてほしかった。はい。保護者研修が頻繁に開催されていて良かった。ベテランの方が少なく、納得あるご意見を頂ける方が少なく感じる。困りごとに対する対応と一緒に考えてくださっている。保護者研修会も頻繁に開催いただき、特性について学ぶ場をつくってくださっています。	ペアレントトレーニングは実施していません。しかし、親子登園期間に親子療育プログラムを実施しています。保護者研修については、保護者の方の意見も聞きながら、再度検討していきます。	
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	93%		7%			担当職員とは良く話し合いができていて、共通理解はできていると感じた。お迎え時に様子をよく教えてくださり、状況はよく把握できています。課題については保護者として「こうなってほしい」とお伝えし、共通理解をしているつもりです。	引き続き、保護者の方とやりとりを通して連携していきます。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	86%		7%		7%	顔を合わせる機会があれば都度なにかしらお話ししていただいています。	今年度より、園だより個別懇談申し込みを作りました。引き続き実施していきます。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	86%			7%	7%	必要な時に必要な助言が受けられなかった。偏った意見や情報で物事を決めたり、ひとりの発言を保護者全体の総意と受け止められていて、職員と保護者の確執につながるようなこともあったと感じた。保護者会の日程変更がある際に役員に一言も伝えられず、全体連絡されていることには驚いた。職員との情報共有の方法に大変苦労した。職員は保護者会活動が迷惑、保護者同士の連携はない方が良く感じているのではないかと不安になることもあった。よくされていると思います	保護者会とともにちよだに通う子どもたちのために連携していきます。
⑯	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	64%	14%	14%	7%		迅速に相談や申し入れは受け入れてもらえたが、対応について適切だったかは疑問に感じた。たんなるクレームと扱われているように感じた場面があった。申し入れに対して対応できることはやっていますが、職員由来のトラブルに対しては対応が遅い&教育が不十分のように感じます。安全管理面の指摘に対する対策が甘い気がしています。(職員が足りず子供が一人で泣いている、移動の際に怪我をした時の対応職員の然るべき姿など)	朝の打ち合わせ、連絡ノートを通して、クラス以外にも対応をできるように確認していきます。また、事故等については改めて全職員で検証していきます。	

	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	93%	7%			職員、子ども、保護者、一対一の情報伝達は配慮されていると感じるが、その情報を施設全体で共有されている工夫や配慮がされているのかは疑問を感じる。 たくさん記載いただく連絡ノートでだいぶ配慮くださっているとと思います！	引き続き連絡ノートを通して、行っていきます。また必要な場合には直接保護者とやりとりをできるようにしていきます。
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	57%	14%	7%	21%	ごめんなさい。意識してみておらず、見逃しているかもしれません。	法人のHPにて公開をしています。また、法人全体の会報と共に担当エリアでの会報等を作成しています。
	⑲	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	93%			7%		
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	57%	7%	14%	21%	訓練実施はされていると聞きますが、保護者周知はあまりされていないとかんじます。	園だよりにて、防災訓練の様子や園での姿を連絡ノートに記入していきます。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	86%			14%	スケジュールや連絡帳で実施されたことが記載されてあるので安心です。	引き続き必要な備え・訓練を行っていきます。また、保護者とともに実施する機会も増やしていきます。
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	100%				とても楽しく通っている。	
	㉓	事業所の支援に満足しているか	86%	14%			通園だけでなく、保育園や幼稚園と並行しながらの並行通園があればよりよい支援を受けられるのではと感じる。 子どもに寄り添う支援については満足しているが、今年は職員の対応や全体的な支援の質の低下を感じました。日々の保育には感謝していますが、本当に子供や家族に寄り添った計画が施設全体で考えられているのか疑問に思うことが多かったです。職員全体での情報共有方法や教育方法について見直しを検討していただきたいです。保護者の中には、来年度から安心して通園させられるか不安、ちよだのことを嫌になりそう、、と言った声もあります。誰のために行う支援、目的は何なのか明確にした説明がなされる施設になってほしいです。 よく見て、根気よくお付き合いいただいていると思います！	引き続き若い職員も多いですが、保護者支援の方法も含めて、研修を積み重ね、その場しのぎの対応にならないように、園全体で対応をしています。また、職員全体で行事やプログラムのねらい等もしっかりと確認し合っていきます。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

園長 伊藤輝人 児童発達支援管理責任者 水野裕貴